

下知地区防災計画（2017年度版）の概要

1. 下知地区防災計画とは

「地区防災計画」は、平成25年の災害対策基本法改正において、市町村内の一定の地区居住者が行う自発的な防災活動に関する計画として、新たに創設された制度です。

下知地区は、標高0~2m程度という低地であり、近い将来に発生するとされている「南海トラフ地震」による揺れ、津波、長期浸水により、甚大な被害が想定されています。

下知地区では災害への備えと住民の防災意識は高まりつつありますが、自主防災組織の空白地区、地域コミュニティの不足、高齢化による担い手不足、木造住宅密集地域の存在、津波避難ビルの偏在と不足、避難行動の実効性の確保、避難所の運営体制、長期浸水時の孤立化対策や避難所の確保、被災後の人口流出につなげないための事前復興のまちづくり計画などの課題が存在しており、防災への取り組みが一層求められていることから、「下知地区防災計画」の策定を開始しました。

下知地区防災計画(共助の防災計画)				
取組方針	希望ある未来に向けた事前復興計画をつくり、生活と街を再建するための住民を失わないことを最優先とし、そのための個別計画を策定し、実施する(下知地区防災計画のテーマより)			
災害・対策の段階	1.命を守る		2.命をつなぐ	
	①揺れ	②津波	③長期浸水対策	④避難所開設・運営
計画	3.生活を立ち上げる			⑤復旧・復興
	個別計画=事前復興計画~被災しないための事前対策~			事前復興計画~災害後のまちづくりを考える~

2. これまでの取り組み

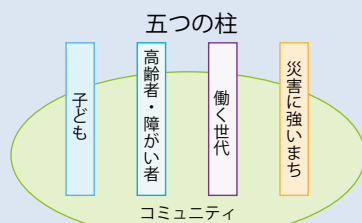
下知地区防災計画策定に当たっては、地域住民の参加する検討会や部会をワークショップの手法を用いて実施しました。ワークショップでは、アドバイザーの進行により、参加者が自由に意見を言いながら、集合知を紡ぐことにより、議論が活発化し前向きで魅力あるアイデアを出すことができました。ワークショップには多くの人に参加してもらい、自分たちで作った地区防災計画とすることを目指しました。

年度	検討内容	実施状況	備考
平成27年度	事前復興計画	検討会4回、訓練1回	内閣府モデル事業
平成28年度	事前復興計画	検討会4回、ブロック会8回、訓練1回	高知市モデル事業
平成29年度	個別計画	検討会4回、揺れ部会2回、津波・長期浸水部会2回、避難所部会2回(うち1回訓練)、津波・長期浸水・避難所部会1回	高知市モデル事業

3. 下知地区防災計画の基本方針とコンセプト

下知地区をどんなまちにするのかという基本方針は、災害に「も」強いまちです。そしてこれを実現するための五つの柱を挙げました。

伸び伸び遊ぶ子どもたちを中心に、地域のつながりで、楽しく安心して暮らせる、災害に「も」強いまち下知



6. 今後の進め方

- 第1版の完成後も、住民間の議論や行政との議論を通じて随時更新します。
- 下知地区減災連絡会として、下知地区全体の防災力向上の方針として活用します。
- 地区防災計画の考え方を単位自主防災組織に落とし込み、各地区の実情に合わせた個別計画の策定、実施、改善に活用します。
- 今後、検討を続けるに当たっては、さらに幅広い地区住民の参加を募り（量の拡大）、ワークショップ等により検討を重ねることにより計画の内容を充実（質の向上）させていきます。

計画の実施と計画更新の両輪で、災害に「も」強いまち下知を目指します。

4. 事前復興計画（下知地区の目指す姿）

下知地区は、南海トラフ地震後に復興計画が必ず必要となります。復興計画は、地震後に作成に取りかかるとなると、十分な時間が取れなかったという過去の震災の教訓があります。災害に備えて命を守る対策ももちろん重要ですが、命を守ったあとの将来に希望が見えなければいけない、という思いより、まず最初に「事前復興計画」の策定に取り組みました。「事前復興計画」には、大きく分けて①被災しないための「事前対策」、②災害後のまちづくりを「事前に考える」の2つの意味が含まれています。

5つの柱に対する復興の方針は以下のとおりです。



5. 個別計画（事前復興計画の事前対策）の下知ベスト10

下知地区防災計画では、揺れ・津波・長期浸水・避難所運営のそれぞれから命を守るための「個別計画」も策定されています。多くの計画が立てられていますが、その中から、効果や実現可能性を考えて、以下の項目を「下知ベスト10」とし、下知地区の現在の優先項目としました。この項目を中心に、来年度から、個別計画の実行に着手していきます。

● コミュニティ対策

- ① 地域コミュニティの活性化、近所同士が顔なじみになるようにする
- ② 「下知で笑顔の花を咲かそ」ホームページ開設
- ③ 防災活動への参加者拡大



● 揺れ対策

- ④ 家具固定や安全な室内づくりを促進、家具固定のお手伝いの輪を広げる
- ⑤ 地域の助け合いで、要配慮者支援

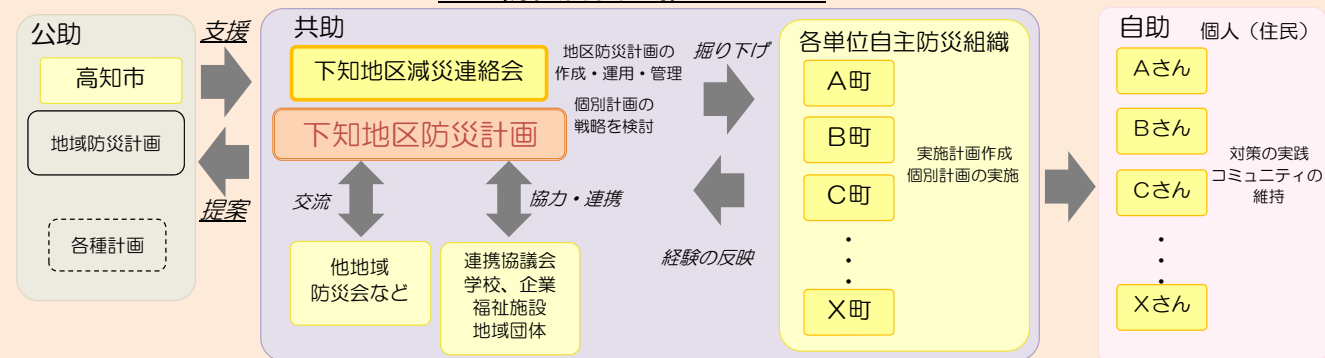
● 津波避難・長期浸水・避難生活対策

- ⑥ 要配慮者を支えながら地域みんなで避難所運営
- ⑦ 津波避難ビルとの連携及び訓練の実施
- ⑧ 避難場所への物資備蓄

● 復旧・復興対策

- ⑨ お互いが顔を知っていることで、生きやすく、強いまちにする
- ⑩ 生活、事業、雇用などの相談窓口を、早期に立ち上げる準備

地区防災計画の推進イメージ



下知地区防災計画 個別計画等の内容

凡例

■ 太枠・赤色塗りの項目は、優先項目（下知ベスト10）

■ 白抜き項目は、ベスト10以外の項目

